



特集①

「第12回定期演奏会 & 第2回長崎演奏会」開催直前!

今回は5月27日(金)長崎、5月28日(土)大村で開催の演奏会特集をお届けします。

はじめまして。安部まりあです。

故郷長崎で演奏できる日を心待ちにしております。今回はモーツァルトのピアノ協奏曲を演奏いたします。皆様に素敵な音楽をお届けできるよう、日々精進しています。会場で皆様にお会いできることを心より楽しみにしております♪

安部まりあ

安部まりあに  
聞く39の質問♪  
Q&A

Q:血液型は。  
A: B型

Q:憧れの職業は。  
A: ピアニスト

Q:ペットはいますか。  
A: 飼いたいけど今の家は飼えないです

Q:趣味は。  
A: ウインドショッピング

Q:生まれ変わったら、男の子と女の子どちらになりたい。  
A: 男の子

Q:小学生のとき好きだった教科は。  
A: 算数

Q:好きな食べ物。  
A: ハンバーグ

Q:その理由は。  
A: 手が大きくてピアノが弾きやすそうなので

Q:今まで経験したことのないことで、やってみたいことは。  
A: スキー

Q:性格を一言でいうと。  
A: マイペース

Q:旅行したいところはどこですか。  
A: 北海道と沖縄

Q:好きな動物は。  
A: ウーパールーパー

Q:利き腕は。  
A: 左

Q:口癖はありますか?  
A: ヒミツ

Q:好きな言葉はなんですか。  
A: 努力は人を裏切らない

Q:長崎と言えば。  
A: びわゼリー

Q:いま一番欲しいものは。  
A: スマートフォン

Q:ストレス解消法は。  
A: 睡眠

Q:では、大村と言えば。  
A: 大村寿司

Q:印象に残っている映画は。  
A: プラダを着た悪魔

Q:最近ハマっていることは。  
A: 半身浴

Q:最近、どのようなことで笑いましたか。  
A: のだめカンタービレを見て

Q:お酒は好きですか。  
A: 好きです

Q:好きな色は。  
A: ピンク

Q:尊敬する人物を教えてください。  
A: ピアノの恩師

Q:好きな男性のタイプは。  
A: 心が広い人

Q:好きな花は。  
A: パラ

Q:今までで1番高い買い物は。  
A: ドレス

Q:好きな芸能人は。  
A: 小池徹平、玉木宏

Q:団体行動は好きですか。  
A: 時と場合による

Q:自分を動物にたとえようと。  
A: コアラ

Q:苦手なことは。  
A: 早起き

Q:好きな作曲家は。  
A: シューマン

Q:春・夏・秋・冬どれが好きですか。  
A: 春以外

Q:得意なことは。  
A: どこでも熟睡できる

Q:クラシック以外でよく聞く音楽は。  
A: 安室奈美恵

Q:その理由は。  
A: 春は花粉症でつらいので…笑

Q:お化けを見たことがありますか。  
A: ない

Q:これからの夢は。  
A: 海外留学



●プロフィール

長崎県出身。現在特待生として上野学園大学専攻科在学中。2008年マリアカナルス国際コンクール(スペイン)審査員満場一致によるメダル受賞。2009年第37回長崎県新人演奏会グランプリ受賞。第78回日本音楽コンクールピアノ部門入選。2010年第8回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞。これまでに、ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など国内外のオーケストラと多数共演。これまでにピアノを草野幸子、横山幸雄、田部京子、宮本玲奈の各氏に、室内楽を原田禎夫、今井信子の各氏に師事。

特集②

# 「コンマス」ってなあに？

～5月公演でコンマスを務める、中西・藤木両団員が語る「コンマス」とは？～

※コンマス：コンサートマスター(concertmaster)の略。オーケストラの演奏を取りまとめる職。

5月の定期では、モーツァルトのピアノ協奏曲を中西、シューマンの交響曲を藤木がコンマスを務めます。(メンデルスゾーンは松原氏)



中西 弾

藤木 修爾

松原 勝也

編集部(以下H):最初に話が来た時、どう思いましたか？

藤木(以下F):そっち?!って。僕が交響曲ですか、って思いました。

中西(以下N):松原さんの後か・・・って(苦笑)

H:コンマスって、皆より後に出てきてチューニングをするからえらいんだと思ってる人多いと思うんです。本当はいったい何をするのか、教えてください。

N:僕は皆の音楽を交通整理する役割だと思ってます。すべての音を把握しリードする人。そしてそのぶん責任が強い。

H:でも、指揮者もいますよね?指揮者とコンマスの役割の違いってなんでしょう。

F:まず、オケでは奏者は指揮とコンマスの両方とも見てるんですね、それなら指揮者だけでいいじゃないと思われるかもしれませんが、コンマスが居ることで指揮者が細かい動きの指示をしなくてよいたら、もっと違うことが指示できるようになりませんか?僕はそう思っています。

H:自分がコンマス向きだと思いますか。

N:わかりません。でも、いままで何回かさせてもらってOMURAの場合は皆顔見知りだし仲間意識が強いから、やりやすいです。本当にすごいコンマスは、座っただけであーこの人だったら安心という気持ちになるので、ということは、コンマスって皆の信頼を集める包容力というか人としての魅力が必要なのかもしれません。

H:これまでコンマスをやって失敗したことはありますか？

N:音楽的なことはさておき・・・数年前、迫さんの指揮でブランデンをやったときに、立とうとしたらピアノ椅子の端っこに燕尾服がはさまり立てなかったという失態があります。他にも、終わって指揮者が握手するかと思いきやタイミングが違ってスカッとやってしまったことも(笑)

H:コンマスって具体的にどんな準備をするんですか。

N:皆と同じです、スコアを見て全体の流れを勉強します。

H:ということは、オケのメンバーもコンマスと同じ感覚を持っていた方がよいということですよね？

F:その通りです。コンマスだけが見えてて、他の人が見えてないという状況はよくない。パーツに例えて話すと、例えば電子ピアノを作る工場があったとして、各々がいろんな部品を作って組み上げるという作業の中で、寸法さえ知っていれば完成形をしらなくても仕事はできるかもしれない。だけど、自分はその中のどの部分を作ってるか、わかって仕事をしてをすることって大切だと思うんです。全部の寸法がわからなくても、想像できるようになるから。寸分の狂いもなく、自分の役割をまっとうして、できたパーツをそれを組み立てる。それが自分の責任だと各パートが自覚してやる。オケもそれと同じ様に感じます。

H:藤木さんはOMURAでは初めてのコンマスですよ？

何を思いますか。

F:まずは、自分の音楽をメンバーの皆に提示できたらと考えています。

H:お客様にはどんな所を聞いてもらいたいですか。

N:長崎で活動している演奏家たちが、ひとつになって音楽を伝えるということで、コンマスが皆の思いをひとつにまとめる訳ですが、自分たちがどんな演奏をするかということよりも、作曲家がどんな作品を残したか、という所を聞いてもらいたいです。良い演奏だね、と言われるより、この作品素晴らしいね、って言われたいですね。

指揮者が変わったら音が変わるとはよく言われます。

それでは、コンマスが変わったら?!中西・藤木、そして松原氏の3曲で果たしてオケの音が変わるのか? 乞うご期待ください!



特集③

# OMURA室内合奏団のメンバーに それぞれの曲の聴きどころを聞いてみました♪

## \*メンデルスゾーン



私がメンデルスゾーンの弦楽シンフォニア第12番で一番好きなのは、1楽章冒頭のメロディです。この冒頭部を聴くと神様!!という気持ちになります。所々に現れるフーガの部分もとても面白いので、是非ご注目ください。

ヴァイオリン\* 松浦 知佳

## Mendelssohn

重厚な序奏から始まるこの曲、14歳頃の作曲とのことですが、いったいどんなことを思い日々を過ごしていたのでしょうか…。さわやかな軽さと内に秘めたような響きが交じり合い、ミステリアスな雰囲気があります。

チェロ\* 田辺 清士



## \*モーツァルト



モーツァルトが生涯に30曲近いピアノ協奏曲を残した中で短調で書かれた曲はこの20番と24番の2曲だけでしたが、今回演奏する20番は胸騒ぎのするような1楽章、それを静めるかのような心安らく穏やかな2楽章、ほとばしる情熱を感じる3楽章、それぞれのコントラストがまるで物語のようになっているのがこの曲の魅力だと思います。

ヴァイオリン(コンマス)\* 中西 弾

## Mozart

不安や悲しみを感ずる激しい曲調や、一転して2楽章での美しいメロディと、まるでモーツァルト自身の心を覗いている気分になります。それを盛りたてるオーケストラの楽器達にもぜひ御注目ください。

オーボエ\* 桐谷 美貴子



## \*シューマン

冒頭のファンファーレがいきなり神の宣告のような荘厳さで、その異様な緊張が最後まで途切れません。さらに第2楽章の透徹し切った響きとフレー징の振幅にも思わず手を合わせたくなる敬虔さが宿っています。

ヴァイオリン(コンマス)\* 藤木 修爾

## Schumann



## 団員

### おすすめ!

## 『長崎県美術館』

●ヴィオラ 小林 知弘



長崎市出島町に存在する長崎県美術館。OMURA室内合奏団は、過去にこちらの美術館にて数多くの演奏ステージをいただいている。例えば、美術館の企画展内容に合わせて、美術と音楽の調和を生み出してきた。前回(今年1月~3月)は、スイスにある名画の殿堂、ヴァイントゥール美術館展が行われた際に、モネ、ルノワール、ゴッホ、ピカソらの名画が登場した。この内容に合わせて、私たちは



(♪ヴァイントゥール展ウェルカムコンサートの様子)

フランス、スイスの音楽を演奏し、名画の前で演奏を行うという、とても貴重な体験をさせていただいた。つまり、巨匠たちとのコラボレーション!を経験し、空間を創り出すことが出来た。

こちらの今後の企画展は、5月22日まで「スウィングン・

ロンドン50's-60's」が開催され、1950年代から60年代のロンドンのファッションや、デザイン、音楽などを通じて、当時のライフスタイルを紹介している。また、今年5月28日から7月10日までは、「スペインの巨匠ミロ展:絵画を超えて」と題し、開催される。版画140点を中心に、国内の美術館が所蔵する油彩や彫刻による名作も交え、ミロ独自の鮮やかな色彩に満ちた、夢の芸術が長崎県美術館に登場するそうだ。私は、スペイン芸術に興味があるのでとても楽しみだ。

こちらの美術館へ行った際には、きっと多くの人が建物内にあるカフェへ足を運ぶことだろう。こちらのカフェは、ガラスに囲まれ、長崎の風景や運河を眺めながら過ごせる空間だ。カフェをプロデュースしているのは、フランス料理界の巨匠、上柿元 勝氏。食と芸術の融合をテーマとし、贅沢な空間を演出されている。美術館へ足を運ばれる際には、ぜひこちらでゆっくりとひと時を楽しんでもらいたい。



# 団員リレートーク オーボエ編

メンバーによるリレートークの第4回目は  
花田朋子さんがオーボエについてお話しします♪



## 花田 朋子 (オーボエ)

「ラ〜♪」

コンサートの始めにオーケストラでは音合わせの為にチューニングというセレモニーがあります。コンサートマスターの合図でその「ラ」の音を出すのがオーボエです。この楽器は難易度No.1とギネスで認定されました。

オーボエ奏者は、楽器を鳴らす為に、まずリード作りをしなくてはなりません。これが本当に厄介なのです。のための黒木君が、オーディション直前にリードを水につけ過ぎて\*演奏がポロポロになった。というシーンがありましたがこのデキ次第でその時の音楽が決まる!と言っても過言ではありません。練習時間よりリードを作る時間の方が長い、と言われるのはその為です。

2枚の葦を薄く削ってゆく。哀愁に満ちたあの音色へ!!  
“鳴らぬなら 鳴るまで削ろう いい音目指し” 朋子  
オーボエ奏者はリードを2枚使いますが、性格は2枚舌ではなく、思慮深く知的な合理主義者が多いと言われてます。

OMURAのオーボエ奏者がそうであるかは見ての通りです?!

### ★ある日のオーボエパート★

♪ピーピーガラガラ (リードの音) ♪  
花「お〜桐ちゃん! そのリード良さそうやね〜ちょっと吹かせて〜」  
♪ドレミファソ〜♪  
花「きゃあ〜! これいいね♥ちょーだい♥」  
桐「あ〜ダメです〜まだ作りかけです〜」  
花「いいやん」  
桐「ダメですっ!!」

と、二人であれこれやっています (^u^)

(注\*この場合はリードの開きが大きくなり過ぎた)

## 亀子政孝の ロンドン通信



さて先日世界一有名なオーケストラの一つベルリンフィルの芸術監督を務める、これまた世界一有名な指揮者の一人サイモン・ラトルの指揮でブルックナーの9番を演奏しました。彼は我がロイヤルアカデミーの卒業生でもあります。演奏会は学校のホールであったんですが、チケットは発売1週間経たずして完売。

会員の皆様ご無沙汰しております、コントラバスの亀子です。  
この原稿を書いている今日は3月28日ですが、ロンドンはもうすっかり春です。かなりの人がすでに半袖で暮らしています。そういえば昨日サマータイムに入りました。これは意外に知らない方も多いと思いますが、時差は一定ではありません。日本とイギリスの時差は9時間と学校で習った記憶がありますがこれは冬時間です。春から初秋にかけての時差は8時間です。なので昨日は時計を1時間進めました。なんだか1時間損した感じです(笑)。

ラトル自身は当日のリハーサルから登場し、さすがの音楽を見せてくれました。でも印象的だったのは彼が我々学生に向かって「練習を少し減らしてもっといろんなことを経験した方がいいよ。」と言ったことです。深く音楽をやっている人が言うのと重みがあります。僕が言うとおへそでお茶を沸かせてしまいますね。  
(写真は庭に咲く桜。イギリスでも桜が咲くんですわね!)



### 演奏会 情報

## ココウオーク「もりの音楽会」

音に出会う、音がこだまする、笑顔がこぼれる「もりの音楽会」  
第2日曜日の午後、ココウオークは音楽のもりになる。  
入場無料!お気軽にご来場ください♪

日時: 2011年6月12日(日) 会場: ココウオーク2F  
①13:00~13:30 ②16:00~16:30 ココスクエア  
出演: 前田 純美加・松浦 知佳(ヴァイオリン)、川口 千穂(ヴィオラ)、  
下田 直子(チェロ)、永留 結花(フルート)

## パトロネージュの皆様のご意見・ご質問を募集しています

### ◎OMURA室内合奏団団員へのご質問

◎パトロネージュ通信へのご意見 ◎音楽や楽器の気になる疑問!!

◎「パトロネージュ会員さんこんにちは♪」コーナーへのご連絡など

などなど、OMURA室内合奏団に関するご感想やご意見、ご質問を募集しております。

宛先 〒856-0836 大村市幸町25-33

シーハットおおむら内「パトロネージュ通信」係

メール omurapatron@gmail.com

団員一同、お待ちしております♪

### 編集後記

音楽を聴いたり、作曲家やその音楽のことを少しずつ知ることとはとても楽しいなあと思います! 何だかその分作曲家に近づける気がします♪ もっともっといろいろなことを知ることが出来たら、もっと楽しい毎日だろうなあと思っています! (編集長: 池田)

昔「この国には何でもある。だが、希望だけがない」と書いたのは村上龍。今、当たり前にあった物質的豊かさがあちこちで崩壊しています。これからの転換期、音楽が人や生活の潤滑油としてすこしでも助けになりますように、祈りを込めて。(副編集長: 山田)

あっという間に桜も散り、緑がきれいな季節となりました。毎年この緑を見るといよいよ定期演奏会! と気合いが入ります。会場のみなさまにお会いできるのを楽しみにしております。(事務局: 広瀬)

OMURA室内合奏団の最新情報♪ <http://ocenagasaki.blog25.fc2.com/>